

基礎化学 2018年度 中間試験 解答例

学科/所属プログラム	学籍番号	氏名	得点

1. 気体分子の二乗平均速度が温度に比例し、器壁の受ける力積と衝突頻度がいずれも速度に比例するので、器壁は温度に比例する圧力を受ける。

2. 絶対温度は水の三重点を 273.16 K として熱力学的温度目盛で定義される。摂氏温度は絶対温度の数値から 273.15 を引いた値として定義される。

3. 定圧モル比熱が定積モル比熱に気体定数を加えた値になると言う関係。

4. 流体を伝わる音速が体積弾性率と密度の商の平方根に等しくなること。

5. 熱流束密度は温度勾配に負符号をつけた値に比例する。比例係数を熱伝導度と呼ぶ。